

〈解答〉

- ① 1 (1) イ
(2) ア
(3) ウ
(4) ①：多くの雪が降る ②：屋外での農作業（両解）
(5) ウ

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 (1) 松本市は、海から離れているため季節風によって運ばれる水分が少なく、1年を通して降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい中央高地〔内陸性〕の気候でイ、上越市は、大陸からふいてくる北西の季節風が、日本海を渡るときに水分を含んで雲をつくり、日本の山地にぶつかって雪を降らせるため、冬に降水量が多い日本海側の気候でウ、浜松市は、夏は太平洋からふく湿った季節風によって降水量が多い太平洋側の気候でアが当てはまる。
- (2) 関東地方は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県のみならず、1都6県からなる。関東平野の西には関東山地、北には越後山脈などの山々があり、これらの山々に源流をもつ利根川、荒川、多摩川などの河川によって広大な平野が形成され、流域には広い低地が広がっている。一方、関東平野の台地は、富士山や浅間山などの火山から噴出した火山灰が積もった赤土である、関東ロームでおおわれている。
- (3) 名古屋市を中心とする地域では、内陸部の自動車工業と臨海部の重化学工業が一体となって発達し、中京工業地帯と呼ばれる日本最大の工業地帯が形成されている。
- (4) 福井県鯖江市では、農家の内職から始まった眼鏡フレームづくりが盛んで、中小企業が作業の工程を分担して製品がつくられている。
- (5) Aは東京都、Bは神奈川県、Cは千葉県である。東京都の割合が最も大きいⅡが商品販売額、神奈川県の割合が最も大きいⅠが製造品出荷額、千葉県の割合が最も大きいⅢが農業産出額である。